



小中学校等に勤務して38年となりますが、これほど盛り上がった体育大会に出会ったのは初めてです。

制限が全くない状態が4年ぶりということで、それも大きかったのかもしれませんが、昨年度より全校挙げて新しい生徒主体の体育大会を模索した結果生まれたものだと思っています。

学級独自の活動とブロックによる競い合いを入れたことで、生徒主体の姿が湧き上がりました。東中生の仲の良さが立ち現れました。

競技種目のみでなく、生徒会主催のブロック対抗種目も、体育大会を豊かに彩りました。

応援合戦はどの学級も非常にレベルが高かったです。タブレット端末を活用し、画面を食い入るように見ながら修正していく姿が印象的でした。

結果的に優勝は決定してしまいましたが、どのクラスも他の学校なら優勝している、という声まで聞こえてきました。

9月に転校してきた子が3人いましたが、その子たちも中に入って精一杯踊りを覚えていました。また、外国にルーツを持つ子の数が年々増え、全校生徒数の4.5%いますが、その子たちも一つになって大活躍でした。

閉会式の校長講評では、トニーが持参したハト風船を、みんなの願い事と一緒に担任の先生方に飛ばしてもらいました。青空に向かって小さくなる風船をいつまでもみんなで見届けました。